

ALSOKぐんま総合スポーツセンターに関する サウンディング型市場調査の実施結果について

別紙

経緯

ALSOKぐんま総合スポーツセンターは、県民の体力増進や競技力向上、スポーツの普及振興を目的とした施設として利用されているが、近年では、施設の老朽化や類似施設の重複、アーバンスポーツなど新しいスポーツの普及により利用者ニーズも多様化している。

こうした施設を取り巻く状況の変化を踏まえ、2029年の「湯けむり国spo・全spoぐんま」開催後の施設の幅広い利活用について、民間活力の可能性や適切な事業手法等に係る意見を募集するため、サウンディング型市場調査を実施した。

対象施設

ALSOKぐんま総合スポーツセンター

スケジュール

- (1) 現地説明会 8月6日(水)
- (2) 参加申込期限 8月22日(金)
- (3) サウンディングの実施 9月9日(火)から実施

サウンディング項目

- 既存建物及び敷地の活用の可能性と想定される付帯施設及び事業の概要
- 事業実施により想定される周辺地域との連携や効果
- 事業の実施方法
- メリット・デメリット
- イニシャルコスト・ランニングコスト
- PPP/PFI導入可能性
- 行政に期待する支援や配慮してほしい事項など

参加者

業種	現地説明会	サウンディング
経営コンサルタント業	3	2
各種商品卸業（商社）	1	1
総合リース業（不動産リース等）	1	1
ビルメンテナンス（不動産管理）	1	
テレビジョン放送業	1	
スポーツ用品卸売業		1
その他（合宿施設等の運営）	1	1
計	8	6

※・サウンディング調査における提案内容については、参加事業者のノウハウ保護のため、事業者名を含めて原則非公表。

・事業者から許諾が得られた範囲で公表を実施するもの。（1社からは公表の許諾が一切得られなかったため、全内容を非公表）

サウンディング結果の概要

サウンディング結果

○既存建物及び敷地の活用の可能性と想定される付帯施設及び事業の概要	○事業実施により想定される周辺地域との連携や効果
<p>(A社)</p> <ul style="list-style-type: none">・競技力向上を支援するための体力測定・医科学機能を備えるスポーツ科学拠点とする。・ふれあいグラウンド及び宿泊棟を除き、既存施設を医科学機能を有する施設に改修。宿泊棟は建替。 <p>(B社)</p> <ul style="list-style-type: none">・合宿事業等の誘致による利用者増を図る。・本館及び宿泊棟は宿泊施設に改修。アイスアリーナを除くその他施設は継続利用。・アイスアリーナは廃止し、伊香保リンクと統合、または、フットサル場へ改修。 <p>(C社・D社)</p> <ul style="list-style-type: none">・老朽化した施設（サブアリーナ・本館・宿泊棟・アイスアリーナ）は有効活用。機能を維持した上で、建替。 <p>(E社)</p> <ul style="list-style-type: none">・プロスポーツのメッカとする。・施設（サブアリーナ・本館・宿泊棟・アイスアリーナ・ふれあいグラウンド・駐車場）を、小規模アリーナ（体育館）・野球場・アイスアリーナに再編・整備する。	<p>(C社)</p> <ul style="list-style-type: none">・再整備により施設の魅力が向上する。・既存利用者層の定着を図られる。・新たな利用者層を獲得できる。・持続的な地域活性化につながる。 <p>(E社)</p> <ul style="list-style-type: none">・スポーツイベント実施に伴う近隣店舗や道の駅との連携・群馬大学や地元企業との連携・学生スポーツの合宿施設とすることによる近隣宿泊施設との連携
○事業の実施方法／○PPP/PFI導入可能性	○行政に期待する支援や配慮してほしい事項など
<p>(全社)</p> <ul style="list-style-type: none">・PFI（民間事業者が、自ら資金を調達して公共施設を整備）による事業を実施。	<p>(C社)</p> <ul style="list-style-type: none">・長期（20年）の維持管理において、光熱水費を見込むことが困難なため、県が負担してほしい。

今後の方針

今回のサウンディングにより、老朽化した施設の再整備や既存施設の改修による利活用など、複数の提案があった。今後は、本結果を踏まえつつ、2029年の「湯けむり国スポーツぐんま」開催後の総合スポーツセンターの施設整備に向けた検討をさらに進める。